

小型環境試験器 フロストフリー仕様

小型サンプルの常温域における長期連続試験に

- 常温での長期試験を実施したい
- 安定性試験を実施したいが、設置スペースがない

恒温恒湿器で常温や常温常湿での試験を実施する場合、冷却器の表面温度がマイナス域のため、徐々に霜が付いてしまい、連続運転ができないことがあります。そこで、常温や常温域での湿度試験時の長期連続運転を可能にする小型環境試験器のフロストフリー仕様をご紹介します。

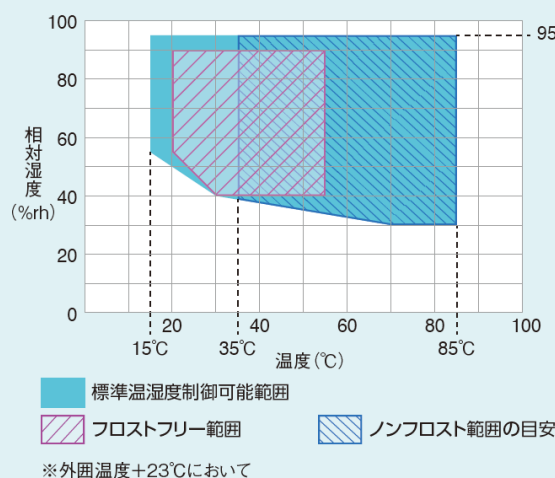


特長

- **常温もしくは常温常湿の連続運転が可能**
通常、冷却器に霜が付いてしまう
20℃55%といった常温常湿においても
長期連続運転が可能です。
- **温度タイプ（型式SU）は+20℃～+55℃
の連続運転が可能**

※フロストフリー「入」「切」の切替え時には、標準性能を満足しない場合があります。

フロストフリーの有効範囲



製品ラインナップ

型式	SH-222	SH-242	SH-262	SH-642	SH-662	SU-222	SU-242	SU-262	SU-642	SU-662
最低温度	-20℃	-40℃	-60℃	-40℃	-60℃	-20℃	-40℃	-60℃	-40℃	-60℃
最高温度	+150℃									
湿度範囲	30%～95%rh（温湿度制御範囲図参照）					—	—	—	—	—
内寸法(mm) W・H・D	300×300×250			400×400×400		300×300×250			400×400×400	
内容量	22.5L			64L		22.5L			64L	

エスペック株式会社 <https://www.espec.co.jp/>

530-8550 大阪市北区天神橋 3-5-6

Tel: 06-6358-4741 Fax: 06-6358-5500

●各営業所へお問い合わせください。

●製品の改良・改善のため、仕様および外観、
その他を予告なく変更することがあります。
あらかじめご了承ください。